

## 令和元年度学会等参加報告

2019年8月31日、郡山市の日本大学工学部50周年記念館（ハットNE）3Fの大講堂にて、NPO法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議と日本大学工学部の共催事業、「猪苗代湖学 県民講座」が開催されました。福島大学からは本プロジェクト研究所の長橋先生と塘の2名が参加し、猪苗代湖に関する研究成果の発表を行いました。

輝く猪苗代湖をつくる県民会議は2015年に設立されたNPO法人で、猪苗代湖の水質改善活動、水質研究活動、広報啓発活動、地域資源活用活動、そして「猪苗代湖学」活動の5つの活動を猪苗代湖と関わる様々な団体・機関と連携して実施しています。今回は「猪苗代湖学」ということで、猪苗代湖の歴史と文化、自然等に関する3題、猪苗代湖の現状と課題等に関する6題の計9題の発表（＝講座）がありました。NPO法人理事長の中村玄生先生、出村克宜日本大学工学部長、鈴木 仁県水大気環境課長のご挨拶で始まり、午後の「猪苗代湖の現状と課題等」の部で、長橋先生は「猪苗代湖の湖底堆積物が語ること」、塘は「猪苗代湖及び長瀬川の底生動物相とその保全」のタイトルで発表しました。その他、環境保護活動へのドローンの活用、安積疎水の話、猪苗代湖の水に因んだ語りなど盛りだくさんの内容で、最後に日本大学工学部の中野和典教授による講評で講座の幕を閉じました。

本プロジェクト研究所は猪苗代湖と関連の深い調査研究活動も展開していますので、今後もNPO法人輝く猪苗代湖をつくる県民会議や「猪苗代湖学」へは積極的に協力していきたいと思っております。



日大工学部50周年記念館入口の立て看板



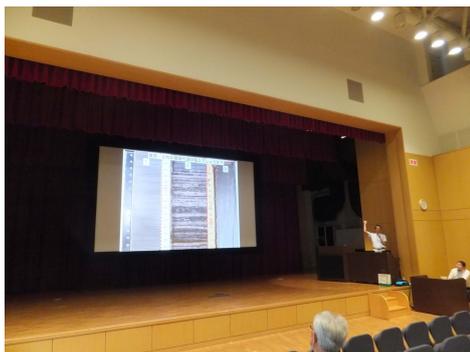
中村理事長による開会の挨拶



ドローンを用いた環境保護活動に関する発表



会場内でのドローンによる撮影実演



長橋先生の猪苗代湖湖底堆積物に関する発表



日大工学部の中野先生による講評